

## ○ 「一路順風」に込めた想いは！



### ～中里・皆瀬地区新春書き初め大会～

1月14日(月)、「第22回新春書き初め大会」が中里・皆瀬地区公民館で開催されました。さすがに受験を控えた3年生は参加が少なく、1・2年生を中心に「筆自慢(?)」の中学生21名が参加しました。

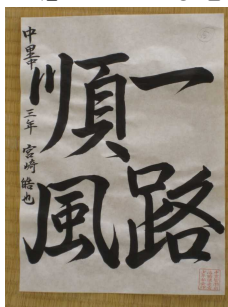
日本の書道の歴史は、漢字が伝わった頃から始まると言われるほど古く、仏教の写経とともに広がり、深まりながら発展してきました。「書道」という名前の通り、美しい文字を書くだけでなく、書を通して心の修養を図ることを目的としているのではないかと思います。参加した生徒たちも静寂の中、限られた時間の中で集中して筆を走らせていました。

中学生に与えられたテーマは、今年も「一路順風」。「物事がすべて自分の都合のよい方向に進むこと」という意味です。毎日を生きていく中で、「一路順風」であってほしいと思うものの、現実には「一路逆風」と思うことが多く、孔子の言う「六十にして耳順い(60歳では耳にどんな話が聞こえても動揺したり腹が立つことはなくなりました)」という心境になれないわが身を嘆くばかりです。ただ、スキージャンプ競技では「順風(追い風)」は失速を招き、「逆風(向かい風)」は大きく飛距離を伸ばしてくれるように、人を成長させてくれるのはまちがいになく「逆風(試練)」だと思います。あえて「逆風」に向かっていく強い心を持ちたいものです。

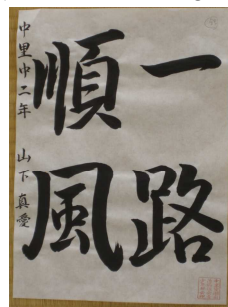
さて、21名の参加者は、「一路順風」にどんな想いを込めたのでしょうか。

#### 《入賞者紹介》

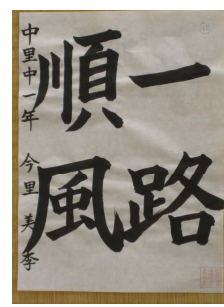
|     |                                           |
|-----|-------------------------------------------|
| 金 賞 | M 皓也くん(3年生)                               |
| 銀 賞 | Y 真愛さん(2年生)<br>I 美李さん(1年生)                |
| 銅 賞 | T さやさん(2年生)<br>K 楓香さん(1年生)<br>M 隼翔くん(1年生) |



Mくんの作品



Yさんの作品



Iさんの作品

### ◎ 「ふれあい作品展」が開催される！

佐世保市内の小・中学校の特別支援学級の児童・生徒と、就労施設に通われている方々の作品を集めた「ふれあい作品展」が、1/11～14に島瀬美術センターで開催されました。

1/11に行われたオープニングセレモニーには、多くの特別支援学級の児童・生徒も訪れ、各学校の作品を熱心に見学しては、次回の作品作りの参考にしている様子でした。様々な障害を抱えながら懸命に制作された作品は、見る人の心を打つすばらしいものでした。来年の作品展も楽しみにしたいと思います。

本校からも2名の生徒が工夫した作品を出品し、展示されました。見学に来ていた小学生が目を見張らせて見ている様子がとても印象的でした。

1/17からは同会場で中学生の書写展も開催されます。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りいただければと思います。



### ◎ 「受験」本格化！

～受験に向けての面接練習も始まる～

「なぜ、あなたは本校を受験しようと思ったのですか？」

面接試験で始めに問われる質問です。中学校三年間で身につけた力を、自分の将来にどう結びつけていくのか。そのために、自分で選択した高校・学科でどういう力をさらに伸ばし、どういう資格を取得しようと思っているのか。明確に理由をつけて、それを面接官に伝える必要があります。

面接試験では、受験生の性格と学力(学んだ力・学ぼうとする力)が明らかになります。いよいよ明日から私立高校と高専の受験が本格化します。筆記試験の準備に加えて、面接の回答も繰り返し練習しおくことが大切です。緊張からか受験間近に体調を崩す生徒も見られます。インフルエンザも流行しています。万全の体調を整えましょう。

